

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式								
E119P008		小学校教材研究Ⅲ (Teaching Materials of Elementary School EducationⅢ)							対面								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態									
選択必修(R2以降入学生) ・必修(H31以前入学生)	2	3	教育学部	前期		日本語		複数(共同)、オムニバス									
担当教員	氏名 松田聡 / 廣瀬剛, 村上佑介, 未定 / 川田菜穂子, 財津庸子, 都甲由紀子 / 玉江和義 E-mail matsat@oita-u.ac.jp / hirotake@oita-u.ac.jp, y-murakami@oita-u.ac.jp / kawata@oita-u.ac.jp, yzaitsu@oita-u.ac.jp, togo-yukiko@oita-u.ac.jp / k-tamae@oita-u.ac.jp 内線 7616 / 7639, 7594 / 7608, 7601, 7561 / 7624																
授業の概要	音楽、図画工作、家庭、体育の4教科につき、各教科に対する授業実践力を向上させるために、小学校の教科書掲載の教材などを具体的に取り上げて検討し、それぞれの教材を扱うための知識・技能を確かなものとして、教育実習(初等)につなげる。																
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7		
目標1	4教科それぞれの教材のあり方の特徴を説明できる。								○								
目標2	教科ごとの特性に応じた教材研究ができる。										○						
目標3	それぞれの教材にふさわしい授業の工夫ができる。										○						
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
各DPへの関連度(計10)									5		5						
授業の内容																	
1	授業ガイダンス(担当:全教員)																
2	音楽(1) 表現領域(1):音楽づくり(担当:松田聡)																
3	音楽(2) 表現領域(2):歌唱(担当:松田聡)																
4	音楽(3) 鑑賞領域(担当:松田聡)																
5	図画工作(1) 鑑賞領域(担当:未定)																
6	図画工作(2) 表現領域(1):立体(担当:村上佑介)																
7	図画工作(3) 表現領域(2):諸材料(担当:廣瀬剛)																
8	家庭(1) 分野横断的な教材の研究(担当:川田菜穂子,財津庸子,都甲由紀子)																
9	家庭(2) 教材の具体的検討(担当:川田菜穂子,財津庸子,都甲由紀子)																
10	家庭(3) 発表・相互評価(担当:川田菜穂子,財津庸子,都甲由紀子)																
11	体育(1) 体育授業の教材開発Ⅰ(体育授業の基礎)(担当:玉江和義)																
12	体育(2) 体育授業の教材開発Ⅱ(体育授業づくり)(担当:玉江和義)																
13	体育(3) 保健授業の教材開発(保健の授業づくり)(担当:玉江和義)																
14	発展的研究(1) 芸術に関わる教材開発(担当:松田聡 / 未定, 廣瀬剛, 村上佑介)																
15	発展的研究(2) 健康・生活に関わる教材開発(担当:川田菜穂子,財津庸子,都甲由紀子 / 玉江和義)																
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	毎回、ワークシートへ記入させるなどして、学生の理解度を確かめる。				工夫 その 他の	Moodleの活用(フォーラム等)									
	B:意見の表現・交換	○	グループワークや発表・相互評価を行う。														
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造	○															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	授業担当教員の指示に従い、次回の準備をすること(15h)。															
	事後学修	小学校教科書の該当ページ等を参照し、各回の内容を振り返ること(10h)。 授業中に課された課題に取り組むこと(20h)。															
	想定時間合計	45															
教科書	各教科の教科書 (具体的には初回ガイダンスの際に説明する)																
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領』『小学校学習指導要領解説』(平成29年告示) (具体的には初回ガイダンスの際に説明する)																

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		授業への参加意欲・態度	40%	○	○							
	レポート等	60%	○	○	○							
	「レポート等」の出題の仕方は教科により異なるので、必ず各教科の授業時の説明を確認すること。											
注意事項	初回到授業に関する基本的な説明をするので、受講予定者は必ず出席すること。											
備考	なし											
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無	○											
教員の 実務 経験	都甲由紀子（高等学校情報科教諭） 村上佑介（特別支援学校教諭【美術】、高等学校教諭【美術】）											
実務経験を いかした教 育内容	高等学校情報科教諭としてプレゼンテーション実習を担当した経験を活かして、情報機器を扱って課題を設定し、実習をする。											